

# Earth Day

残されたテーマは地球です。

December.2008 Vol.4

定価680円

巻頭対談 和泉流宗家 和泉節子\*木村武史

ギンザワク 堂満謙一

スペシャル対談 小池 百合子

C·W·ニコル

エブリディアースデイ提唱者 光永 勇

ホルミシスを知っていますか?

Love&Peace ヨーコ・オノ

アースディ世界大会へ向けて

人と地球の流れを好転させる法

千葉大学大学院地球福祉センター 上村雄彦

認識テクノロジー ノ・ジェフ

世界で活躍する人 顔安 日本中華総商会 副会長

*Nature Eye*

財団法人 花と緑の農芸財団 常務理事 理事長代行 小町 文仁が語る

未来の子供たちへ「ミスター」花の心のメッセージ

# 究極の絶望から 究極の希望へ 地球環境は変えられる

ロングインタビュー

認識テクノロジー開発者 ノ・ジエス

環境破壊が進む地球、格差が広がり希望を失う人類、  
韓国人のノ・ジエス氏が日本から始まる認識革命を  
訴え動き始めた。



## 剣が大好きだった子供時代

—— ではまずノ・ジエスさんの子供のころの話から伺えますか?

摺(すり)足の剣で。

—— 日本の剣のイメージですか。

ジエス はい、よく皆さんから、小さい頃はどういう子だったんですか、という質問を受けまして。自分の小さい頃を考えるときに一番不思議だなと思うのが、本当に剣が大好きな子供だったんですよ。チャンバラもよくやって、自分より1、2歳上の人たちともやつて勝つたりして。とにかく剣がとても好きだったんです。

それで、今でも覚えてるんですけど、5、6歳の頃、夢の中でピストルを作った人を憎らしく思う、そんな夢を何度も見たんですね。剣だったら僕は世界トップになれるのに、なんでピストルなんて作つたんだ…って。それが印象としてすごく一番残っているんですね。そんなことからも、私はかなり剣の世界とつながりが深くあつたのではないか、と思うところがありますね。

あとはね、誰からも教えてもらつたことないのに、自分で兜(かぶと)を新聞紙で作つて、それをかぶつてチャンバラをやつていたんですよ(笑)。まあ、それは遊びなんですね。

私が今こうして日本で活動していることは、日本とこうしてつながりがあることなど強く感じていますね。

—— そうですね。

ジエス 剣は、中国の剣もあるし、韓国の剣もあるし、日本の剣もありますが、日本の剣は本当にシンプルですね。

なのか」とか。特に光に興味を持つて、「体光はどこから来て、どんなメカニズムで走つて、最後はどうなるんだろう」と。光の秘密を知りたい、という想いはずっと持ち続けていました。学生時代に呼吸法をするようになつたのも、もしかしたら光の秘密がわかるかも知れない、と期待があったからなんです。

だから今考えると、そんな感じで小さくなつたんです。授業の前に予習をするようになつて、授業中は先生の話をとても集中して聞いて、ちょうどでも疑問が出たらすぐ手をあげて質問したすぐにはその答えができてしまつたんですよ。方法がわかつてから。実はルールがあるんですよ。

—— 日本人ではそれができる人は、そろばんをやつてる人ですね。

ジエス はい。そういうことをよく研究して、他の人たちに質問して。

—— そのルールは自分で?

ジエス ええ、いろんな大会で優勝したりして。小学校、中学校と田舎の学校だったから、田舎のレベルですけど、学校ではいつもトップレベルで。生徒会長もやつっていました。

私はもともとすごく色白で、体が柔らかかったんです。それを見た母に「男の子がこんなに弱々しくて、女みたいになつたダメよ。武術をやりなさい。」と言われて、小学校5年のときから武術道場に通い始めて、それから20年くらいの間ずっとやり続けていたんです。はじめにやつたのは、テコンドーですね。

ジエス 私が武術を教えた生徒の中で、太極拳をやつていた生徒が全国で2位になつたんです。それがあって、地域の人たちからも応援されるようになつて、武術道場もかなり大きくなつたんですよ。

—— 武術道場を経営していたんですか?

ジエス はい。教育関連の会社も経営していました。80人くらいの社員を抱えています。

—— じゃあ会社と同時経営ですか。

ジエス そうです。多いときは生徒が200人くらいで。

—— で、何がきっかけでやめてしまうのですか?

—— はい、テコンドーですね。

会社経営を辞めて一身発起、憧れの国日本へ

ジエス なんでも疑問を持つ子供で、大人たちによく質問してましたね。たとえば「なぜ人間の目と耳はふたつで、鼻と口はひとつなのか」「なぜ指は5本

のか」とか。特に光に興味を持つて、「体光はどこから来て、どんなメカニズムで走つて、最後はどうなるんだろう」と。光の秘密を知りたい、という想いはずっと持ち続けていました。学生時代に呼吸法をするようになつたのも、もしかしたら光の秘密がわかるかも知れない、と期待があったからなんです。

だから今考えると、そんな感じで小さくなつたんです。授業の前に予習をするようになつて、授業中は先生の話をとても集中して聞いて、ちょうどでも疑問が出たらすぐ手をあげて質問したすぐにはその答えができてしまつたんですよ。方法がわかつてから。実はルールがあるんですよ。

—— 日本人ではそれができる人は、そろばんをやつてる人ですね。

ジエス はい。そういうことをよく研究して、他の人たちに質問して。

—— そのルールは自分で?

ジエス ええ、いろんな大会で優勝したりして。小学校、中学校と田舎の学校だったから、田舎のレベルですけど、学校ではいつもトップレベルで。生徒会長もやつていました。

私はもともとすごく色白で、体が柔らかかったんです。それを見た母に「男の子がこんなに弱々しくて、女みたいになつたダメよ。武術をやりなさい。」と言われて、小学校5年のときから武術道場に通い始めて、それから20年くらいの間ずっとやり続けていたんです。はじめにやつたのは、テコンドーですね。

だから、会社の方は親族に任せて、日本で静かに暮らしながら本一冊でも書こうと思って、1995年に福岡に来たんです。小さい時から日本への憧れが強くあったので、もっと日本のことを知り

# やっぱり一つだけの世界だった。

たいという想いもありました。

—— 13年前ですね。

**ジエス** はい。それで、日本に来てから韓国の本社が倒産してしまってね。会社を任せていた親族が、その倒産の整理をちゃんとできなくて、結局私の財産も母の財産も全部なくなってしまったんです。

—— ええ——！

生きることも死ぬこともできない、どん底の絶望の中で聞こえた声

**ジエス** それからは本当に地獄でね。名譽も財産も人間関係も全部なくなつて。毎日のように夫婦喧嘩して、結果的に離婚になつてしまい……私は日本語をまったく学んでなかつたから、ぜんぜんしゃべれないし、お金もないし、韓国に戻ることもできない。

韓国にいる母のことがとても心配で心配で、気が狂いそう。その時はもう人間として生きる道がなかつたんですよ、本当に。もう針の上に立つた状態。石ころだつたらどんなに幸せだろう、人間だからこんなに苦しんだ、と思つたりもしました。道端の雑草さえも幸せに見えましたね。もう毎日自殺しか考えられない、そんな状態でしたよ。でも韓国にいるお母さんがいる心配で、死ぬこともできない。生きることも、死ぬこともできない状態でした。

—— 一気にボーンと奈落の底に落ちてしまつたような感じですね。

**ジエス** それはすごく痛い状態なんですが、病院にくま保険証もありませんでしたからね。でも私は長年呼吸法を

本当にそんな感じでしたよ。

何でも自信満々だった人間が、そんな状態になつたんですから。これは夢に違いない、と思いましたね。こんなことが

現実に起きるはずないと。ずっと文武両道模範生だった自分が、なんでこんな目に逢つただろうか、という感じで。

—— うわあ、本当に大変でしたよね。

**ジエス** はい。ところが、自殺まで考えていた、そんなどん底の状態でも、不思議なことに心の中から自信のようなものが沸きあがつてくるんですよ。「大丈夫。これを乗り越えたら祝福が待つてあるよ。だから頑張って生きてみて」と。

そういう内なる声が聞こえてくるんです。でも頭では「無理だよ。これでどうやつて生きていくんだよ！」と反発していましたけどね。頭はすつと自殺を考えているのに、心は「生きよ、生きよ」という声が聞こえてくる状態ですね。

—— へえ。

光のトンネルを走つた神祕体験をして得たこと

**ジエス** 私には片方の歯茎がないんですけど、ストレスで歯茎の後ろの方がものすごく腫れて、もう目が見えなくなるくらい……。ストレスで歯茎が全部溶けちやつたんです。

—— うわあ、すごいですね。

**ジエス** それはすごく痛い状態なんですが、病院にくま保険証もありませんでしたからね。でも私は長年呼吸法を

やつてお陰で、痛みをコントロールすることができたんですね。とにかく呼吸に集中しましたよ。痛みがとれるからね。

—— そうですか。

**ジエス** そうして呼吸に集中している間、「この宇宙はどうやってできたんだろう」とか「光はどうやってできたんだろう」とか、そういうことに思いを巡らすようにしたんです。そうすることでお話などから離れるようになつたんです。

**ジエス** それで、小さいころから知りたかった光の秘密や、宇宙を動かしているすべての力、仕組み、そういうものを知りたいと強く思うようになつたんです。

—— ほう。

**ジエス** それで、ある日呼吸に集中していたときに、光のトンネルの中に自分が入つて、そこを強烈なスピードです一ひと走る映像が3時間くらい続いたんですよ。3時間というのは、意識が戻つてから計算してわかつたことで、トンネルの中を通過している間は時間の感覚はありませんでした。

終わりがないように思つたトンネルにもやがて丸い出口がみえてきて、「ああ、この光のトンネルにも終わりがあるんだ」と思いましたね。そして、その出口を通過しきつたときに、「ああ、今宇宙を通過したんだ」というような気持ちでした。そして、自分も含めて宇宙すべての存在が全部暗闇ひとつに溶けてしまつたんです。その前にも武術をやつ

# イギリスの産業革命、アメリカのIT革命、次にくるのは日本の認識革命。

いたときに、体全体が溶けた感覚になるという体験があつたので、「やっぱりひとつだけの世界だったんだ」と。そしてその直後に、自分の体が宙返りするような衝撃を受けました。ちょうどジエットコースターに乗つて、ひっくり返るような、あんな感じですよ。言葉では表現するのは難しいですが、それはほんの一瞬の出来事で、自分の意志でどうしようもできなくて…。そのとき、強烈な力をとてもリアルに体全体で感じました。そして、その後は、言葉にできないほどともスッキリした感覚と、究極に平和な状態がきました。

—— それは不思議ですよね。

ジエス　はい。目を開けたら、周りにはすべて愛しかなくて。感動がずっと続いて、幸せが満ち溢れて、涙が止まりませんでした。それからは、どんどん答えがでてきたんですよ。無の秘密有の秘密存在のあり方の秘密、すべての疑問が解けていったんですね。もちろん光の秘密も。

宇宙全体の仕組みを自分流に整理できる、しかもリアルなイメージで。そんな感じで、どんどんノートにまとめて、もう300冊くらいになるかな。だから、もうそれからはノートに整理するのが楽しみになつたんです。

**意識と無意識の両方の観点を自由自在に移動できる「認識テクノロジー」**  
—— そうですか。それからどうなつたんですか？

ジエス　ええ。セミナーに参加してくれた全員が私の話を聞いてとても感動してくれましたね。理論を理解してくれたんです。それで私も、こういう考えが人に伝達できる、共有共感してもらえると感動したんです。その後は、宇宙の仕組みを知りたい人や、心の問題を抱えている人たちには特にこういう話を聞かせてあげたい、それが必要だと

いたときに、体全体が溶けた感覚になるという体験があつたので、「やっぱりひとつだけの世界だったんだ」と。

—— それは不思議ですよね。

ジエス　その体験があつてから、いろんなことがよい方向に向つて、どんどん上手く回りだしたんです。

—— ヘえ。

ジエス　ええ。最初は2泊3日でした。その後、教育プログラムとして開発を重ねて、理論パートと実践パートを含めて、全部で30日間のプログラムになつたんです。

—— 好転していくんですね。

ジエス　ええ。

—— 30日間必要だなんですね。

ジエス　ええ。でもそれだと、仕事を辞めないと受けられないという問題が出でてしまいます。それで、プログラム内容をさらに整理整頓して、3泊4日に凝縮したんです。実際やつてみたら、そくれたんです。「もっと広めではほしい」と。それでセミナーをやることになつたんです。

—— そのヒットしたプログラムというのが、「HITO TSU学」のことですね。それは能力開発のプログラムですか？

ジエス　そうですね。2008年4月で50回を迎えるました。私たちは、認識の次元上昇によつて、人間と宇宙自然が全部つながつていき、シンプルなひとつになるということを、プログラムを通して理解していくだいでいるんですね。この観点に固定されている今までの認識方式と違って、観点を自由自在に移動しながら物事を認識できるようになる。だから全体のあり方がわかるんです。

強く確信するようになつたんです。だから、そういうワークやセミナーをしていくこと考えたんです。その最初が、2001年の9月だつたと思います。

—— そのセミナーというのが、3泊4日のアドバンスセミナーですか？

# 心は無限大になれるけど、 お金や権力や名誉は無限大になれない。

それを「認識テクノロジー」と言っています。人間はみんな誰でも、常に認識して生きているんです。だから、生命活動よりもっと深いところに、実は認識活動というものがあるんです。一般的に認識は意識活動だと思われていますが、本当は意識活動と無意識活動を同時に持つていてのが認識活動なんです。今までの認識方法は自然の認識で、ただパッと見てラップと思う認識ですね。「あっ、これはコップだ」とか。そこに人間の意志は入っていない。私たちの「認識テクノロジー」は、意志というものを入れるんです。すべての存在、仕組みを二体どう理解すればいいのか。考えてみてください。私たち人間は、ありのままの世界を見ることができますか? 今見えているこの世界は、すべて可視光線の反射なんです。可視光線の角度や量の違いで、いろんな形で存在が存在するようになります。だから、本当にそのままのままの存在を人間はまだ見たことがないんです。

脳のアートもある。光の仕組みと脳の意識の仕組みがわからないと、すべての存在の秘密がわからないんです。その仕組みが、さきほどお話をした体験を通して明確にわかったんです。それが「認識テクノロジー」なんです。それをしていくと、最後は皆さん、「なるほど!」となるプログラムになっています。

——なるほど。  
ジエス 今的能力開発や成功プログラム  
ムというのは、潜在意識を用いたりもしていますが、これまでネットだったのは、存在の在り方がわかつていなかつた、といふことなんですよ。プラス思考などの思ふ方や、やり方のノウハウは教えられるけれど、在り方は教えられない。光や意識がどのように生まれるのか、という光と意識の誕生メカニズムがわからなかつたから、本質的なこと、存在の在り方というものが何もわからなかつたんですね。

だから本当に「認識テクノロジー」は、認識活動と同じように思うこれまでの認識方式とは次元が全然違うんですよ。私たちの「認識テクノロジー」の観点からみれば、認識活動は、寝ていても死んでいても常に行われることなんですよ。

——そうですか。

ジエス だから、私たちはこれからは認識革命だと言っているんです。イギリスの産業革命、アメリカのIT革命、その後にくるものこそ、日本の認識革命ですね。人類の進化の中で一番すさまじい革命周期を起こすものなんです。ユートン、デカルト、アインシュタインの相対性理論、量子力学や超ひも理論、5次元の世界、般若心経、老子の道(タオ)の世界まで、すべてつなげて理解を深めることができますよ。

3泊4日の中でも段階を踏みながら説明していくと、最後は皆さん、「なるほど!」となるプログラムになっています。

**道具とシステムの進歩から、意味と価値の進歩へ**

認識が変わり生き方が変わる!  
『希望の革命シリーズ』!!  
～日本から始まる黄金時代～



～ミッションとの出会い～

ご購入・お申込は下記URLまで  
<http://peace-production.jp/>

**国家革命**

Koh Jesu

～個人と組織を進化させる～

**学校革命**

Koh Jesu

～教育のパラダイム転換～

**コミュニケーション革命**

Koh Jesu

～個人と組織を進化させる～

**感動革命**

Koh Jesu

～感動革命～

**感動革命**

Koh Jesu

～感動革命～

**コミュニケーション革命**

Koh Jesu

～個人と組織を進化させる～

発行 Pease Production有限公司  
国家革命 最新刊

